



りく ぜん たか た し
陸前高田市 × トナリノ が取り組む
デジタルデバйд対策と
市民とのつながりの強化

デ
ジ
タ
ル
活
用
支
援
推
進
事
業

デジタル活用支援推進事業
 (デジ活)とは
 高齢者等のデジタル活用の
 不安解消に向けて、
 スマートフォンを利用した
 オンライン行政手続等に対する
 助言・相談等を行う
 「講習会」を実施する事業です
 10/10国費補助(上限あり)

自治体基礎情報 岩手県 陸前高田市

人口 17,224 人

世帯数 7,579 世帯

令和6年12月31日現在

事業実施団体情報 一般社団法人トナリノ

本社所在地 岩手県 陸前高田市

企業概要

トナリノは「地域の相棒」として、地域のデジタルに関する講座や相談対応、防災の自助を学ぶ体験型・研修型プログラムの提供、webサイトやチラシなどの広報物制作等、得意とするデジタルを活用して、地域のニーズに応える事業展開をしています。

<https://tonarino.org/>



担当者からのコメント



本多 暁子 さん

陸前高田市教育委員会 教育総務課
生涯学習・芸術係 主任



佐々木 信秋 さん

一般社団法人トナリノ 代表理事

デジタルによる市民とのつながりの強化

市内には常設の携帯電話ショップがないため、市民がスマホに関する相談をできる場所が少ないことが課題でした。そのような状況のなか、デジ活を利用してトナリノ社が講師を派遣してくださったおかげで、市民がスマホの基本的な操作方法等について学ぶ機会ができました。また、市が提供するオンラインサービスの利用方法についても教えていただいたことで、もともととはデジタル活用に不安を感じていた方々もスマホを活用した情報収集やコミュニケーションができるようになってきています。受講者からは「市の情報をスマホで受け取れるようになり、役所をより身近に感じた」という声もいただきました。市としても今後もオンラインを通じた市民とのつながりをより強化していきたいです。(本多 暁子さん)

デジタル・スマホに苦手意識を 持っている方々への第二歩の支援

「地域の相棒」として地域の様々な課題解決を行っている弊社において、デジタルデバйд対策は重要なテーマとして位置付けています。なぜなら、東日本大震災で、デジタルによるコミュニケーションの重要性をとて強く認識したためです。当時、チャットによるコミュニケーションがもっと広まっていれば、支援の情報などをより効率的に広範囲に行き届かせることができたのではないかと思います。また、メールや電話・FAXなどと比較して、チャットによるコミュニケーションは継続性があることから人と人をつなげる効果もあるため、高齢化や過疎化が進む地域においても重要な役割を担うものであると感じます。しかし、スマホを使うことに対する不安や恐怖心から「デジタルアレルギー」を抱えている方も多くいらっしゃるのが現状です。そのような方々にとって、まずはスマホを使うことを好きになることが第一歩として必要と考えており、その点を意識してデジ活の講習会を実施しています。デジタルに対する苦手意識が強かった受講者の方がスマホを使えることで得られる利便性や喜びを知り、周囲の方々にも伝播いただいていることも多く、デジ活を起点にデジタルやスマホを活用できる方を増やすことができていると実感しています。(佐々木 信秋さん)